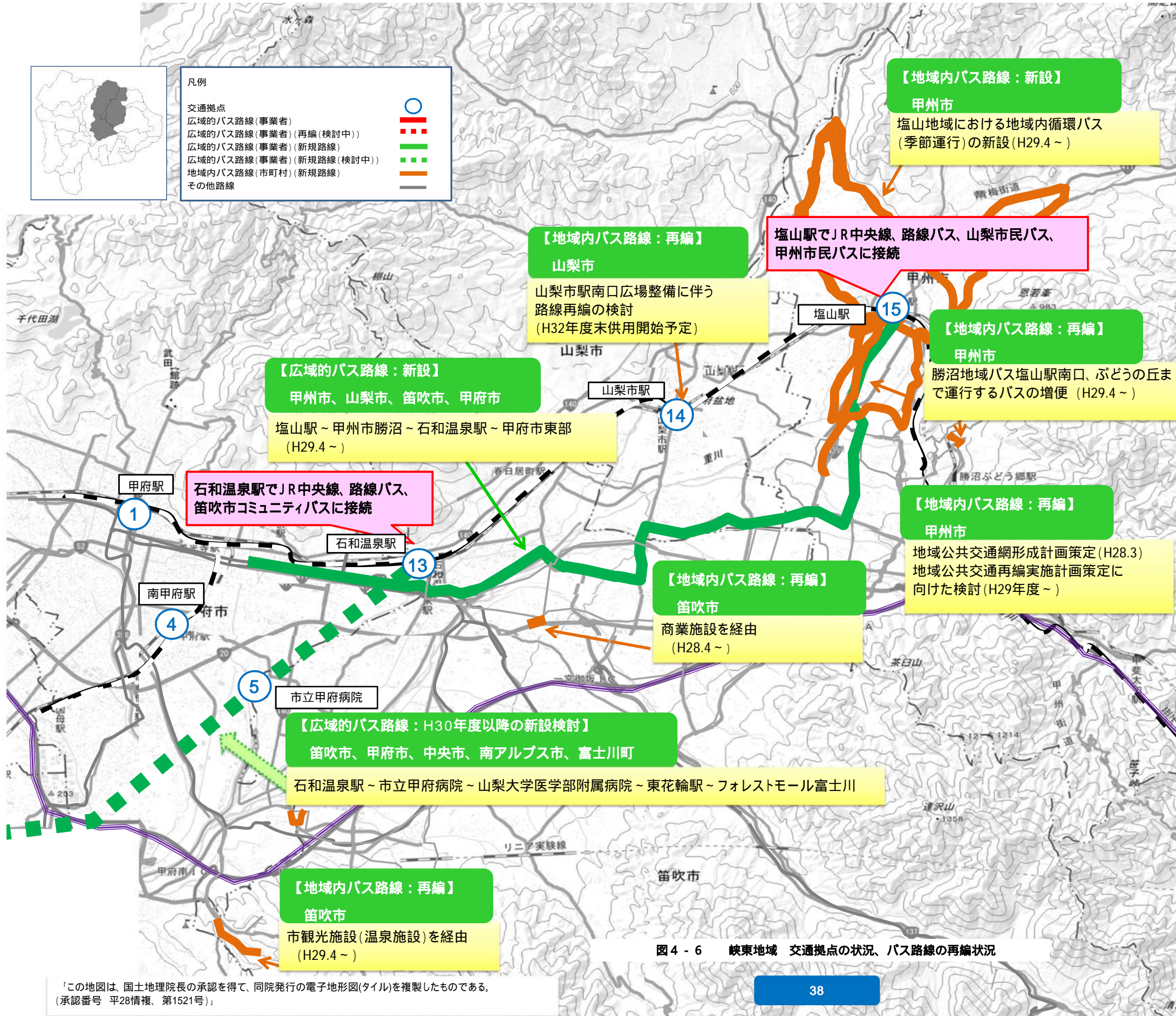


図4-5 甲府盆地南西地域 交通拠点の状況、バス路線の再編状況

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平28情複、第1521号)」



【交通拠点の状況】

石和温泉駅
 石和温泉駅では、JR中央線、甲府駅、河口湖駅、富士山駅方面の路線バス、笛吹市コミュニティバスが接続しています。この接続により、通勤、通学、通院、買い物、観光などを目的とした甲府市、大月市、富士吉田市、富士河口湖町方面への移動が可能となっています。

塩山駅
 塩山駅では、JR中央線、旧三富村方面の路線バス、山梨市民バス、甲州市民バスに接続しています。この接続により、通勤、通学、通院、買い物、観光などを目的とした甲府市、大月市、旧牧丘町、旧三富村方面への移動が可能となっています。

【バス路線の再編状況】

(バス事業者)
 平成29年4月から塩山駅～甲州市勝沼～石和温泉駅～甲府市東部を結ぶバス路線が新設されます。この路線新設により、甲州市、山梨市、笛吹市の交通空白地域の一部が解消され、通勤、通学、通院などを目的とした石和温泉駅、甲府市東部方面への広域的な移動も可能となります。

勝沼地域のみで季節運行していた地区内循環バスについて、平成29年4月から塩山地域においても春・夏・秋において季節運行します。(山梨市)

平成28年3月に策定した山梨市総合戦略では、山梨市駅の南口整備を起点に、駅前の賑わい創出・拡大を視野に入れた、駅南地域の開発に取り組むこととしています。

平成32年度末までに山梨市駅南口広場の整備を行い、併せて、市民バスの南部方面の路線を中心とした経路の見直しなどの検討を行うこととしています。

(笛吹市)
 公共施設の再編状況などを踏まえ、市民バスを、移動ニーズに対応したバス路線に再編するため、平成28年度から検討を始めました。

一宮地区を運行している一宮循環バスについて、市民の買い物の利便性向上を図るため、平成28年4月から商業施設を通過する経路に変更しました。

境川地区を運行している境川巡回バスについて、市民の通院、買い物などの利便性向上を図るため、平成29年4月から増便するとともに、市観光施設(温泉施設)を経由する路線に変更します。

(甲州市)
 市内の公共交通の現状、問題点・課題を踏まえ、甲州市総合戦略などが目指す将来像を実現していくため、平成28年3月、甲州市地域公共交通網形成計画を策定しました。

甲州市地域公共交通網形成計画では、市街地エリアまでの公共交通の利便性向上、市街地エリアの公共交通の回遊性向上、観光二次交通の整備の3つを目標に掲げ、デマンドバスの運行効率化、バス運行ルートの見直し、観光周遊バスの導入などの事業の実施に向け、平成28年度から検討を進めています。

勝沼地区と塩山市民病院間を運行している勝沼地域バスは、医療機関・商業施設を経由し勝沼地域の高齢者の通院、買い物の移動手段として使われています。平成29年4月から塩山駅南口まで運行するバスを増便するとともに、市民や観光客の利便性向上を図るため、温泉施設がある「ぶどうの丘」まで運行する回数を増やします。

図4-6 関東地域 交通拠点の状況、バス路線の再編状況

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平28情複、第1521号)」

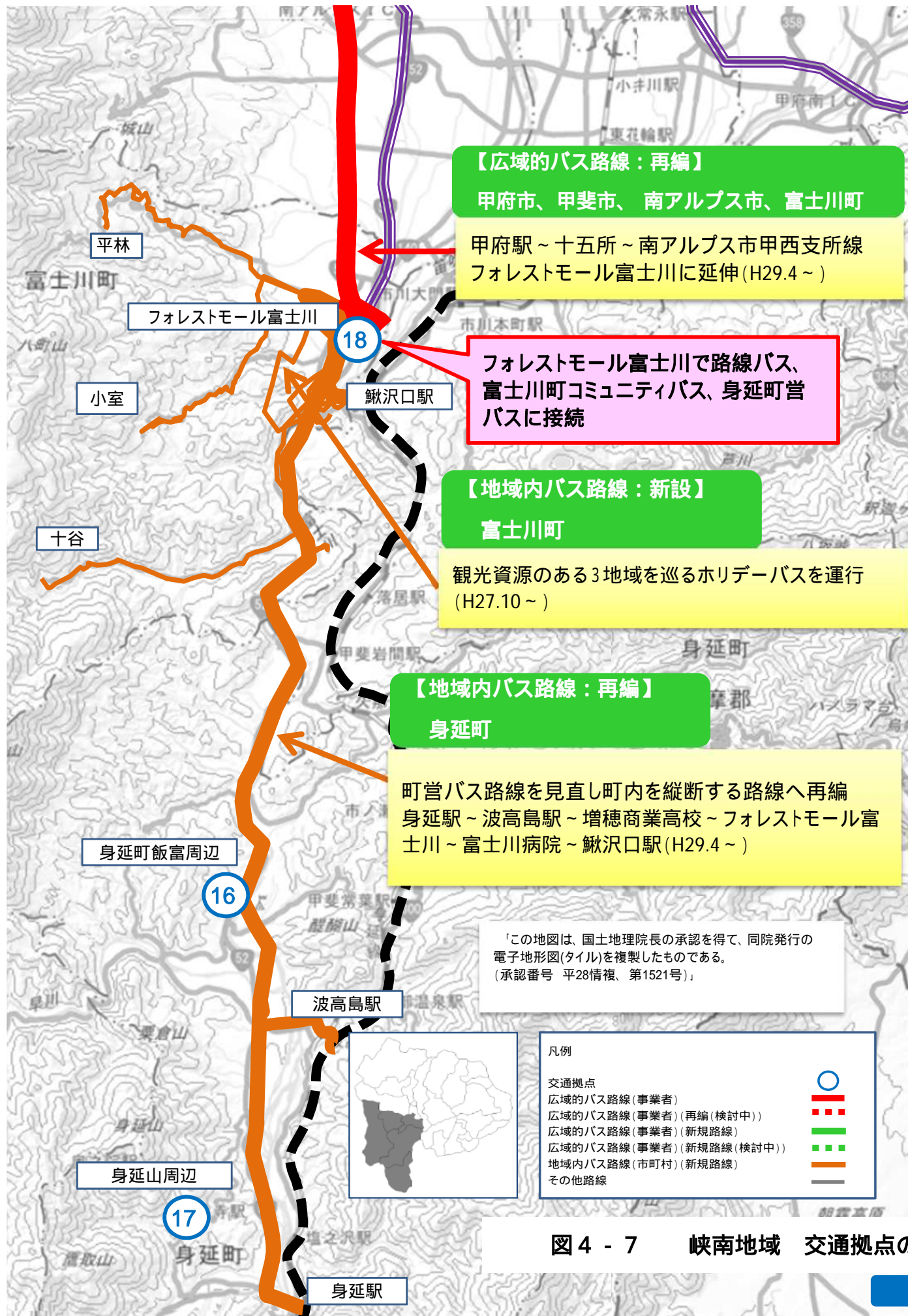


図4-7 峡南地域 交通拠点の状況、バス路線の再編状況

【交通拠点の状況】

フォレストモール富士川

フォレストモール富士川では、南アルプス市、甲府駅方面の路線バス、富士川町コミュニティバスが接続しており、平成29年4月から鯉沢口駅、波高島駅、身延駅方面の身延町営バスが接続します。

この接続により、通勤、通学、通院、買い物、観光などを目的とした甲府市、南アルプス市、身延町方面への移動が可能となります。

【バス路線の再編状況】

(バス事業者)

平成29年4月から甲府駅～十五所～南アルプス市甲西支所線が延伸し、フォレストモール富士川に接続します。

(身延町)

町の公共交通は、合併前の旧町単位のまま運行されている状態が続いていました。その後、町営バス、乗合タクシー、民間バスとの連携を図り、住民の移動手段の確保を図ってきました。

平成27年12月に策定した、身延町まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標に、特色ある持続可能な地域社会の形成を掲げ、公共交通機関の充実を図ることとしました。

町民や利用者アンケート調査によりニーズを把握し、学校、病院、福祉施設、役場などの施設への乗り入れの検討やJR身延線、路線バスとのスムーズで円滑な乗り換えができるよう検討を進めました。

広域的バス路線との乗り継ぎや隣接する町に所在する高校、病院等への乗り入れも検討し、町の北部を運行する新早川橋鯉沢線と町の南部を運行する身延循環線の一部を統合し、身延駅から富士川町の増穂商業高校やフォレストモール富士川、富士川病院を經由して鯉沢口駅までの町内を縦断するバス路線に再編し、平成29年4月から運行を開始します。

この路線の再編により、通学、通院、買い物の利便性が向上し、広域的な移動が可能となります。

(富士川町)

町の公共交通機関は、中山間地域から市街地に向かう乗合タクシーと市街地を走る路線バス、市川大門駅と富士川町の市街地を經由し、鯉沢口駅を結ぶコミュニティバスが運行されています。

富士川町コミュニティバスは、通勤、通学などに利用されています。平成27年10月からは、観光資源のある小室、平林、十谷と鯉沢口駅を結ぶホリデーバスを、それぞれ、1日3往復運行しています。